

6.21 人と自然との触れ合いの活動の場

資料編 6.21 人と自然との触れ合いの活動の場 目次

表-6.21.1.1～2	安部区の現地踏査結果(その1～2)	資 6-21-1～2
表-6.21.1.3	三原区の現地踏査結果	資 6-21-3
表-6.21.1.4	汀間区の現地踏査結果	資 6-21-4
表-6.21.1.5	瀬嵩区の現地踏査結果	資 6-21-5
表-6.21.1.6	大浦区の現地踏査結果	資 6-21-6
表-6.21.1.7	大川区の現地踏査結果	資 6-21-7
表-6.21.1.8	二見区の現地踏査結果	資 6-21-8
表-6.21.1.9	辺野古区の現地踏査結果	資 6-21-9
表-6.21.1.10	豊原区の現地踏査結果	資 6-21-10
表-6.21.1.11	久志区の現地踏査結果(その1～2)	資 6-21-11～12
表-6.21.1.13	松田区の現地踏査結果(その1～2)	資 6-21-13～14
表-6.21.1.15	海上の現地踏査結果	資 6-21-15
表-6.21.1.16～18	地元施設への聞き取り調査地点における夏季利用状況 (平成19年度)	資 6-21-16～18
表-6.21.1.19～20	地元施設への聞き取り調査地点における秋季利用状況 (平成19年度)	資 6-21-19～20
表-6.21.1.21～23	地元施設への聞き取り調査地点における冬季利用状況 (平成19年度)	資 6-21-21～23
表-6.21.1.24～25	地元施設への聞き取り調査地点における春季利用状況 (現地調査結果)	資 6-21-24～25
表-6.21.1.26～27	地元施設への聞き取り調査地点における夏季利用状況 (現地調査結果)	資 6-21-26～27
表-6.21.1.28～29	地元施設への聞き取り調査地点における秋季利用状況 (現地調査結果)	資 6-21-28～29
表-6.21.1.30～31	地元施設への聞き取り調査地点における冬季利用状況 (現地調査結果)	資 6-21-30～31
表-6.21.1.32	普及性の価値の評価基準	資 6-21-32
表-6.21.1.33	各調査地点の普及性の評価	資 6-21-33
表-6.21.1.34	利用形態の多様性の評価基準	資 6-21-34
表-6.21.1.35	アンケート調査時に確認された利用形態	資 6-21-34
表-6.21.1.36	年齢層の多様性の評価基準	資 6-21-35
表-6.21.1.37	利用者の年齢層区分と沖縄県人口に占める割合	資 6-21-35
表-6.21.1.38	カウント調査時に把握した使用者の年齢層	資 6-21-36
表-6.21.1.39	多様性の価値の評価基準	資 6-21-37

表-6. 21. 1. 40	各調査地点の多様性の評価	資 6-21-37
表-6. 21. 1. 41	傑出性の価値の評価基準	資 6-21-38
表-6. 21. 1. 42	各調査地点の傑出性の評価	資 6-21-39
表-6. 21. 1. 43	郷土性の価値の評価基準	資 6-21-40
表-6. 21. 1. 44	各調査地点の郷土性の評価	資 6-21-41
表-6. 21. 1. 45	親近性の価値の評価基準	資 6-21-42
表-6. 21. 1. 46	各調査地点の親近性の評価	資 6-21-43
表-6. 21. 1. 47	歴史性の価値の評価基準	資 6-21-44
表-6. 21. 1. 48	各調査地点の歴史性の評価	資 6-21-45

6.21 人と自然との触れ合い活動の場

(1) 事業者による調査

1) 人と自然との触れ合い活動の場の概況調査

(a) 現地踏査結果

表-6.21.1.1 安部区の現地踏査結果（その1）







人口	175人（平成20年4月現在）	面積	3.1km ²
集落形態	基盤目状の形態の伝統集落		
指定文化財	安部拝所のガジマル		
概況	安部区は大浦湾の北端に位置しています。集落は海岸近くの浜堤上に立地しています。ギミ崎と安部崎・オール島が馬蹄形の湾をなしています。南流する安部川の上流には安部ダムが建設されています。国道331号が、集落を二分するように通っています。		
現地踏査時撮影写真	安部浜、安部灯台、安部崎、安部地区会館前、安部ダム、カヌチャベイホテル&ヴィラズ、カヌチャビーチ、安部拝所のガジマル		
安部浜			
安部灯台			
安部崎			

表-6.21.1.2 安部区の現地踏査結果（その2）

<p>安部地区会館前</p>		
<p>安部ダム</p>		
<p>カヌチャベイホテル&ヴィラズ</p>		
<p>カヌチャビーチ</p>		
<p>安部拝所のガジマル (名護市指定文化財)</p>		

表-6.21.1.3 三原区の現地踏査結果

人口	346人（平成20年4月現在）	面積	6.7km ²
集落形態	散村形態の屋取集落		
指定文化財	なし		
概況	三原区は、汀間区の北側、汀間川の上流沿いに位置しています。区内を志根恒川・廃屋川・福地川が流れ、汀間川と合流しています。これらの川沿いに集落が立地し、また農地にも利用されています。水利に恵まれ、昭和40年代まで水田が多くみられましたが、現在は殆どがさとうきび畑になっています。国道331号が、汀間川沿いを通り安部方面に曲がっています。		
現地踏査時撮影写真	三原地区会館前、汀間川上流		
三原地区会館前			
汀間川上流			
ゲヤー滝	ゲヤー滝は立ち入りに地権者の許可が必要であるため、立ち入っていない。		

表-6. 21. 1. 4 汀間区の現地踏査結果

人口	256 人 (平成 20 年 4 月現在)	面積	面積 4.3 km ²
集落形態	基盤目状の形態の伝統集落		
指定文化財	なし		
概況	汀間区は、大浦湾に面した集落です。東に汀間川 (流長 5.6km)、西にテマダ川があり、大浦湾に注いでいます。汀間川河口は、かつて山原から薪や竹などを積み込んだ港でした。北には一ツ岳 (295m) があり国頭山地へと続いています。集落は、汀間川の河口の海岸低地に位置し、福木で囲まれた屋敷林が目立ちます。集落南側の大浦湾沿いを国道 331 号が通っています。		
現地踏査時 撮影写真	汀間川河口、汀間漁港、汀間地区会館前		
汀間川河口			
汀間漁港			
汀間地区会館前			

表-6. 21. 1. 5 瀬嵩区の現地踏査結果

人口	514人 (平成20年4月現在)	面積	面積 4.7 km ²
集落形態	碁盤目状の形態の伝統集落		
指定文化財	瀬嵩さんたち原のハル石		
概況	瀬嵩区は大浦湾の湾岸に位置し、間切時代の番所や村時代の役場が置かれていた所です。集落の南の丘は御嶽となっています。集落は、北の一ツ岳を水源とする瀬嵩川の下流に位置し、沖積低地や砂地に形成されています。かつてのウマバ(馬場)が、集落内をほぼ東西に走り、また主要道路の役目を果たしていました。集落南側の大浦湾沿いを国道331号が通っています。西のナビゲ(役所前の浜)は、前面の海が鎮の底のようになっていることから名付けられたといわれています。		
現地踏査時 撮影写真	瀬嵩の浜、役所前の浜、瀬嵩区公民館前		
瀬嵩の浜			
役所前の浜			
瀬嵩区公民館前			
瀬嵩さんたち原のハル石	瀬嵩さんたち原のハル石は、現地踏査時に確認できなかった。		

表-6. 21. 1. 6 大浦区の現地踏査結果

人口	63人 (平成20年4月現在)	面積	3.2km ²
集落形態	基盤目状の形態の伝統集落		
指定文化財	大浦のマングローブ林、大浦アサギ庭のガジマル、大浦のイチョウ		
概況	大浦区は、大浦湾に面しています。多野岳の南斜面を水源とする大浦川（流長 5.30 km）が南流し、大浦湾に注ぎ出ます。大浦川の河口付近にはマングローブの群落があります。集落は大浦湾の奥にあり、大浦川河口左岸の沖積低地に立地しています。国道 331 号が大浦橋で南に向けカーブし、県道 18 号線が大浦川沿いに北の大川区に向けて通っています。		
現地踏査時 撮影写真	大浦集落センター前（大浦アサギ庭のガジマル）、大浦川河口（大浦のマングローブ林）、大浦湾岩場、大浦のイチョウ		
大浦集落セ ンター前、大 浦アサギ庭 のガジマル （名護市指 定文化財）			
大浦川河口、 大浦のマ ングローブ 林 （名護市指 定文化財）			
大浦湾岩場			
大浦のイ チ ョウ（名護 市 指 定 文 化 財）			

表-6.21.1.7 大川区の現地踏査結果

人口	74人（平成20年4月現在）	面積	面積 3.1 km ²
集落形態	散村形態の屋取集落		
指定文化財	なし		
概況	大川区は大浦川の中・上流域に位置し、三方を山に囲まれています。県道18号線が、大浦から大川の集落を通り、名護岳の南をまわって名護東江に抜けています。集落は、県道18号線沿いと大浦川沿いにあります。		
現地踏査時 撮影写真	大川集落センター前、大浦川上流		
大川集落センター前			
大浦川上流			

表-6.21.1.8 二見区の現地踏査結果

人口	85人 (平成20年4月現在)	面積	面積 5.4 km ²
集落形態	散村形態の屋取集落		
指定文化財	なし		
概況	二見区は、大浦湾に面した楚久原と杉武田原の二つの小字からなっています。北は国頭山地に連なり、周辺に100m級の山があり、南は大浦湾に面しています。楚久の海岸は、さらに小さな湾をなしています。国道331号が、集落の南側を通っています。集落は、杉田川の支流沿いと楚久川沿いに立地し、小集落を形成しています。		
現地踏査時 撮影写真	二見コミュニティーセンター前、楚久川河口の公園、二見海岸、ゆかり牧場		
二見コミュニティーセンター前			
楚久川河口の公園			
二見海岸			
ゆかり牧場			

表-6.21.1.9 辺野古区の現地踏査結果

人口	1,993人(平成20年4月現在)	面積	面積8.0km ²
集落形態	放射状の形態の伝統集落		
指定文化財	なし		
概況	<p>辺野古区は名護市東海岸に位置し、久志岳(335m)と辺野古岳(303m)を水源とする辺野古川と美謝川が流れます。辺野古川は太平洋へ、美謝川は大浦湾に注ぎ出ます。国道329号が辺野古の集落の北側を通り、世富慶へつながる横断道路となっています。集落は、辺野古川下流にあり、河口付近の沖積地が古い集落です。その北側の台地には商店や飲食街が形成されています。</p>		
現地踏査時 撮影写真	辺野古漁港、辺野古前上原公園、辺野古近隣公園、辺野古の浜		
辺野古漁港			
辺野古前上 原公園			
辺野古近隣 公園			
辺野古の浜			

表-6. 21. 1. 10 豊原区の現地踏査結果

人口	419 人 (平成 20 年 4 月現在)	面積	面積 1.7 km ²
集落形態	散村形態の屋取集落		
指定文化財	なし		
概況	豊原区は名護市東海岸に位置し、北西の方に久志岳 (335m) と辺野古岳 (303m) が望め、南は太平洋に面しています。国道 329 号より北側は、キャンプ・シュワブの演習場となっています。集落は、県道 13 号線沿いの方がやや古く、国道 329 号に近い部分は新しく形成された集落です。		
現地踏査時 撮影写真	豊原地区会館前、豊原の浜		
豊原地区会館前			
豊原の浜			